

秩父病院での研修を終えて

埼玉医科大学総合医療センター 初期研修医 E.R.

一か月間お世話になりました。大学病院で初期研修しており、所属している医師は専門分野のみの診療しそれ以外は基本的にコンサルテーションか断るという方針でした。専門の先生にすぐに相談できるメリットは大きいですが一人の患者で方針が医師同士で違うこともありました。患者一人の疾患に対して家庭環境も含めて今後の方針を決めていくところを研修させていただきました。必要な場面では専門医の協力を得ながら患者にとって信頼できる医師であるためには専門外についてもジェネラリストとして把握し患者に説明できるようにしている必要があると感じました。

過去の研修医も多く言っているとは思いますが救急以外の外来診療を経験させていただいたのは本当に貴重な経験でした。自身に知識が足りないところがあればすぐに相談に乗っていただける環境で、研修医自身で疾患だけでなく日常生活を合わせてどれぐらいの医療介入をしていくべきか判断していくことが出来ました。患者に必要な以上の到着点を考えていくことの重要性和難しさを実感しました。自分で処置や検査をした患者をフォローすることが出来たため、前回の処置が正しかったのか、改善できることはなかったのかを考えながら診療に当たることが出来ました。多くの患者を診察してきて分からない、知らない疾患については自分で調べて診察していくことを経験しました。今後医師としての年数をどれだけ重ねたとしても所見の症例に当たることがあると思います、その際も今回のように自分で調べて方針を決め、不安を感じたら専門医の協力を仰いでいけるようになればと思いました。

病棟では患者管理について内服や検査について提案させていただき、患者家族との調整を直接させていただく機会がありました。患者の家族と直接退院の日程や入院の説明をする機会は大学ではありませんでしたが必要性について強く感じていたので経験させていただきありがとうございました。患者家族や今後紹介する先、介護の方針など病気だけでなくその患者とその人の環境と一緒に診ていくことの難しさと重要性を実感しました。

小鹿野では訪問診療の見学をし、患者の家の様子を直接確認できることの良さと医療機器が十分でない中でどこまで適切に診察していくか判断することの難しさを知りました。病院に行くことが困難なため訪問診療を選択している患者が多いので検査が必要だと伝えるのは簡単だけれど塔やって受診するか、病院に来る回数を減らすことはできないかと考えながら診療を進めていくところが印象的でした。

医師として研修させていただいたことについて書かせていただきましたが仕事以外でも大野先生、山田先生には食事に連れて行っていただき楽しい思い出をたくさんありがとうございました。秩父外科医会、秩父医師会など地域の会に参加させていただき、人柄や顔を知ったうえで一緒に仕事をしていくことの良さを知りました。右も左もわからないときから最終日まで看護師、薬剤師をはじめ病院中の方々に声をかけて頂いて助けていただきま

した。どの方が抜けてもここまで頑張ることが出来ませんでした、本当にありがとうございました。